

令和4年度第1回花巻市総合計画審議会（会議録）

1 開催日時

令和4年5月10日（火）

午前10時～午前11時30分

2 開催場所

花巻市花城町1-47

花巻市生涯学園都市会館（まなび学園）3階 第2・第3中ホール

3 出席者

■委員出席者：16名

高橋利光委員（花巻農業協同組合代表理事専務）、高橋豊委員（花巻商工会議所会頭）、高橋照幸委員（社会福祉法人花巻市社会福祉協議会会長）、佐々木博委員（一般社団法人花巻観光協会会長）、富澤正一委員（花巻市区長会会長）、伊藤清子委員（花巻市食生活改善推進員協議会会長）、関原信大委員（一般財団法人花巻市体育協会事務局長）、中島健次委員（花巻市芸術協会会長）、瀬川行夫委員（花巻市大迫地域協議会会長）、菅原康之委員（花巻市石鳥谷地域協議会会長）、松葉孝博委員（花巻市東和地域協議会会長）、中村良則委員（学校法人富士大学副学長）、漆沢俊明委員（花巻信用金庫理事長）、村上純委員（連合岩手花巻北上地域協議会事務局長）

■代理出席者：2名

佐藤貴哉氏（公益社団法人花巻青年会議所副理事長）

※安部修司委員（公益社団法人花巻青年会議所理事長）の代理出席

川村厚氏（花巻市地域自治推進委員会副会長）

※岩渕満智子委員（花巻市地域自治推進委員会会長）の代理出席

■委員欠席者：4名

浅沼由美子委員（花巻市地域婦人団体協議会副会長）、藤沼弘文委員（花巻工業クラブ会長）、高橋一矢委員（花巻市PTA連合会会長）、中舘一郎委員（一般社団法人花巻市医師会）

■市側出席者：2名

上田東一市長、岩間裕子総合政策部長

■事務局：6名

総合政策部秘書政策課（富澤課長兼総合計画策定室長、伊藤課長補佐、村田総合計画策定室次長、八重樫企画調整係長、川村総合計画策定室主査、菊池企画調整係主査）

4 委嘱状交付

開会に先立ち、上田市長より新たに委員となる16名に委嘱状を交付。（欠席者4名分は後日送付。）

5 会議内容

(1) 開会

本日の審議会は委員20名中16名出席につき、花巻市総合計画審議会条例第4条第2項の規定に基づき、過半数の出席により本審議会が成立することを事務局より報告。

(2) 市長挨拶

【上田市長】お忙しい中、皆様にご参集いただいたことに感謝申し上げます。この2年間は花巻市の総合計画にとって非常に重要な期間となる。平成26年の4月から花巻市総合計画は施行されたものだが、令和5年度をもって計画期間である10年間が経過する。従って新たな総合計画を作らなくてはならないという時期に来ているもの。

市民の皆様の御意見を聞きながら進めていくためには、2年間でも十分な期間はないのかもしれないが、市として、令和4年度の早い段階から市民ワークショップ等を開催しながら進め、できれば令和5年度半ばほどに総合計画を市民の皆様と一緒に作り、それに基づく具体的なアクションについてのアクションプランを令和5年度末までに策定し、それを踏まえた令和6年度の予算を作っていきたいと考えている。

今回皆様にご審議いただく総合計画の考え方は大変重要なものであるもので、忌憚のないご意見をいただきたい。そしてもう一つは中期プランの見直し、ローリングについて。今の中期プランは最後の4年間のアクションプランであり、ちょうど2年間が経過したところである。今後2年間のアクションプランを見直し、新たな事業を中期プランに掲載した上で、予算を作っていこうと計画している。今年の1月に市長選挙があったため、令和4年度の当初予算はいわゆる骨格予算ということで、原則として新規の事業は入れずに予算計上しているが、この中期プランの見直し、ローリングを経て新たに肉付け予算を計上したいと考えており、今回このローリングについてご審議いただくというものである。市にとって大変重要な計画となるので、皆様の慎重な審議、あるいは忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

(3) 会長、副会長選出

会長が選任されるまでの間、岩間総合政策部長が仮議長となり、議事を進行。

会長、副会長の選出について、委員より自薦、他薦等はなく、仮議長より「事務局案」を示してよいか伺う旨を発言。委員より「異議なし」とされたことから、事務局より会長に中村良則委員、副会長に漆沢俊明委員を選出。各委員より「異議なし」とされたことから決定。

花巻市総合計画審議会条例第3条第2項の規定に基づき、中村会長が議長に就任。中村会長よりあいさつ。

【中村会長】私は現在の総合計画の策定からお手伝いさせていただきました。もう一度ということで縁を感じている。力不足ではあるが皆様の協力で素晴らしい総合計画を策定できればと考えている。

(4) 諮問

次期総合計画策定の基本方針（案）についての諮問書を、上田市長から中村会長へ手交。

(5) 議事

【中村良則会長】議事を進めさせていただきます。次期総合計画策定の基本方針（案）につきまして担当課より説明願います。

- 富澤総合政策部総合計画策定室長から、資料No. 1「次期総合計画策定の基本方針について（案）」に基づき、次期総合計画策定に向けた基本的な考え方、策定体制等について説明。

【中村良則会長】ただいまの説明につきまして、質疑を行います。ご質問のある方は挙手をお願いします。

【松葉委員】5ページの（3）市民参画の①まちづくり市民ワークショップにおいて、若者部門の年齢を22歳までと決めた理由があればお聞きしたい。大学を終えた方でも、若者だと思うが、22歳と23歳で分ける理由は何であるか。

【中村良則会長】自然なご意見かなと思います。いかがでしょうか。

【村田総合計画策定室次長】御指摘いただいたとおり30代の方でも若者という概念はある。ただし、今回この総合計画を策定するに当たり、10年、20年先の将来を見据えたご意見を頂きたいという観点から特に高校生から大学生までの世代を若者とする一つの区切りとして22歳までと設けている。例えば、1度市外に出たとしても花巻にまた帰って来たいなどのご意見を期待するもの。

なお、23歳以降の方々につきましても、一般部門においてご意見を頂

ければと思っている。今回、一般部門については、無作為抽出した方々をお誘いする形を考えており、そこらご参加頂ければと考えている。

【中村良則会長】松葉委員よろしいでしょうか。

関連して、細かい話だが、例えば学生の中には浪人、あるいは留年する人もいます。それでもきっちり22歳で区切るということか。それとも、例えば在学していれば、23歳であっても参加できるなど、その辺はどのように考えているか。

【村田総合計画策定室次長】22歳と記載しているところだが、申込み状況に応じて柔軟に検討していこうと考えている。

【中村良則会長】わかりました。他にいかがでしょうか。

【中島委員】確認ですが、計画期間について、この記述ではいわゆる市長任期と計画期間の整合性を考慮した上で長期ビジョンを短縮するとある。その上で3ページの図ですが、総合計画の後半である12年度に市長になられた方、どなたになられるのかは別として、策定作業というのは令和12年度及び令和13年度で策定を始めるという理解でよいか。ことさら市長任期との整合性を強調しているが、この辺りはずれていると感じる。

【中村良則会長】市長の任期とアクションプランの期間が微妙にずれていると、この考え方についてご説明をお願いします。

【富澤総合計画策定室長】確かにこの次期総合計画は8年間として進めようとする場合、令和13年度で計画は終了するため、この図によると令和14年度からの計画は令和12年度、令和13年度中に策定準備をしていくこととなるだろう。

ただし、例えば市長任期の始めとなる2月上旬からを計画の始点として、市長任期の終期を計画の終点とするような計画は、策定作業に一定の時間を要することが想定されるため現実的ではないと考えている。長期ビジョンは市長の任期4年の倍数で8年とした。

【中島委員】恐らくそのようなことではないかと思いますが、ことさら市長任期というのが強調されていたため、少しこだわって質問した。説明について了解した。

【中村良則会長】もともと現在の計画は10年という期間であり、大体このような計画は10年というのが一般的であると思う。しかし、10年ということに特別な意味があるかと言われると、それもなかなか難しい。変化が非常に激しい昨今であるから、計画期間を少し短縮して8年と考えて、それが市長任期とオーバーラップする部分があるため、政策の中身については市長選挙における公約からなる方向性があるはずだから、それらについて、そのときどきの市民の声が反映された形でこのアクションプランの

内容も検討されていくし、多少ローリングを通じて、再検討されるだろうと。市長任期というよりはその市長が選挙等で掲げる公約について、このまちづくりの総合計画にタイムリーに反映させていきたいと、そういう趣旨になるのではないかと。とても大事なポイントかなというように思う。

関連でも、別の観点からの質問でも結構ですのでいかがでしょうか。前の計画と比べると、長期ビジョンが8年というところと、それから柱が6本というところが一番大きく変わったポイントかなというように思っている。

【松葉委員】市民参画のまちづくり市民ワークショップの一般部門が7回ということであるが、例えば、石鳥谷地域で何回、東和地域で何回という各地域で開催する想定なのか、花巻市全体で花巻地域に集まって7回ということなのかを、今決まっているものがあればお聞きしたい。

【中村良則会長】ご説明をお願いします。

【村田総合計画策定室次長】具体的な中身についてはこれから詰めていくが、現在事務局で想定しているのは、1か所での7回開催としており、毎回会場を変えることは想定していない。ご参加いただく方々については、先ほどご説明した通り、各団体からご推薦いただく方、それから市民の方々へ無作為で選出した方にご参加いただくことを期待しているところ。

【中村良則会長】松葉委員、よろしいでしょうか。

【松葉委員】団体からの推薦については、あまりそういうこと（どこの地域からであるか）は考えずに、各団体から推薦をいただくという想定であるか。

【村田総合計画策定室次長】市内における農業、商工、福祉等を統括する関係団体へお声掛けする予定である。また、一般市民の方々から無作為抽出によりお誘いする分については、地域に配慮した参加者の棲み分けを想定しているところ。

【中村良則会長】これが次期総合計画を策定していく基本的なフレームワークとして考えられているということ。特に他にご質問ございませんでしょうか。それではこの次期総合計画策定の基本方針に対する質疑を終了いたします。

次に、次期総合計画策定の基本方針（案）ですけれども、それについての答申ということで、協議を願いたいと思います。ご意見のある方は挙手をお願いします。

なければこの諮問に対して意見なしとして答申することとしてよろしいでしょうか。

《各委員「はい」との返事》

【中村良則会長】では、答申書については、私に一任していただくことでよろしいでしょうか。

《各委員「はい」との返事》

【中村良則会長】異議ないようですので、私と事務局で調整し、後日、答申を行います。ありがとうございました。

続きまして花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランのローリングにつきまして担当課より説明願います。

- 富澤総合政策部秘書政策課長から、資料No. 2-1「花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランのローリングについて」、資料No.2-2「花巻市まちづくり総合計画第3期中期プラン」に基づき、ローリングの経緯、内容について説明。
- 八重樫総合政策部秘書政策課企画調整係長から、資料No. 2-1「花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランのローリングについて」における、4. 財政見通し等について説明。

【中村良則会長】ただいまの説明に対し、質疑を行います。ご質問のある方は挙手をお願いします。

【佐々木委員】5ページ、財政見通しのことですが、収入の部でその他の収入の内ふるさと納税という箇所について、今年度見込みが43億9,200万円となっているが、翌年が20億円というように、半減以下の数字でとなっている。これはふるさと納税で1番売っているメーカーが出品しないなどの情報が入っているということか。

【中村良則会長】ご説明をお願いします。

【八重樫企画調整係長】令和4年度の20億というのは当初予算として20億円計上し、令和5年度についても同様に20億と計上しているものだが、令和3年度のように40億のままいくかはわからないところ。

実際には蓋を開けてみて、好評ぶりが続いていけばさらにこの額が増えていき、その結果、まちづくり基金にまた積み立てられることも想定されるが、現状では堅いレベルで積みあげているものになる。ご質問のようなご心配の点はないと考えている。

【佐々木委員】ふるさと納税のおかげでかなり大きな数字をいただいた。これは仮定の話であるが、その納税（寄附）額の一部が花巻温泉郷の補助金に使われたり、あるいは、花巻市内の事業者によるPayPayなどに使われていたりすると私は思っているので、これからも観光協会としてはふるさと納税には力を入れていきたいと思っている。

【中村会長】はい。最もなご意見かなど。他にいかがでしょうか。

中期プランの年月は空欄になっていますが、今この審議会への説明と市議会の説明が終わった段階で確定すると、そういうことですか。

【富澤秘書政策課長】本日の審議会でご説明した後、最終的には市長決裁によって決定する。その後、令和4年度分については、まず、肉付け予算として、市議会臨時会で審議いただくよう、予算案を上程したいと考えている。

【高橋委員】先ほどもあったようにアクションプランっていうのは、要は、前倒しで見直しをすることができると。この見直しを図るタイミングや実行は誰が決めるのか。例えば市長が見直しを決めるのか。

【中村良則会長】長期ビジョンや、総合計画のアクションプランの見直し、このローリングとの関係など、誰がどのように具体的に項目を決めたり提案したりするのだと。説明をお願いします。

【富澤秘書政策課長】先ほどの次期総合計画策定方針案と説明が被るが、基本的に長いほうの計画、長期ビジョンにおいて、そこではまず柱の部分を定めるというのが一般的だと思う。今までやってきたことをやらなくするか、やってこなかったことを新たにやるとかという柱の部分を追加したり削ったりするのであれば本体（長期ビジョン）の話になる。そういった場合は、本審議会等への諮問、答申をいただいたうえで、最終的には市議会の議決を得るということになるので、大きな方針が変わる場合には計画策定と同じ手続を踏むという形になる。

一方、今回の中期プラン（アクションプラン）ローリングは、基本的には時点修正である。計画策定時に予算ベースでかかるであろう事業費を積んで計画額としているものだが、事業実施するに当たって、または事業完了後には差が生じる。基本的に次年度予算を編成する時期には、この中期プラン（アクションプラン）のローリングを行うことを考えている。具体的時期として、次年度予算要求、11月ぐらいまでにアクションプランのローリングを行うとこととしたいと考えている。このローリングは、先ほどご説明したとおり、この審議会へのご説明した上で、市長決裁によって決定することとしている。

【中村良則会長】高橋委員よろしいでしょうか。

僕なりに付言すればアクションプランなり、長期ビジョンとは基本的な方向性を示すものであり、例えば産業団地の整備のような計画実施の経過の中で出てきた課題などは、やはり大きい方針に沿った形のものであるためにアクションプランに追加すると。それでよろしいでしょうかということが審議会で聞かれるのだということだと思う。

他にいかがでしょうか。以上で花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランのローリングという項目は終了しようと思います。よろしいでしょうか。

それでは以上で議事を終了します。委員の皆さま、ありがとうございました。

(6) 閉会

【伊藤秘書政策課長補佐】委員の皆さま、長時間にわたり、ありがとうございました。これもちまして、令和4年度第1回花巻市総合計画審議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。